

# 平成24年度当初予算のポイント

## 予算編成の基本的な考え方

平成24年度予算は、

平成23年度に引き続き、東日本大震災からの復旧・復興事業を最優先に市民生活の回復に全力で対応していく予算

として、下記のとおり編成した。

H24 一般会計当初予算 871億円（対前年比594億円増）

### 東日本大震災対策

263億円

#### 【被災者支援】

仮設住宅入居者生活支援、健康推進、情報提供等

#### 【災害廃棄物処理】

#### 【復興事業の推進】

防災集団移転、災害公営住宅整備、農業用施設整備等

#### 【災害救助費】

援護資金貸付金、弔慰金

### 原子力災害対策

324億円

#### 【除染推進】

生活圏（チルドレンファーストの実施）、公共施設、農地の除染推進等

#### 【放射線量検査の実施】

被ばく検診、食品等・工業製品測定等

#### 【子供の安全確保】

積算線量検査、複式学級解消、臨時小中学校開設等学校教育環境整備、体験活動等

### 公共施設災害復旧

45億円

#### 【福祉施設】

小高区の老人福祉センター、保健福祉センター

#### 【農地・農業用施設】

農地・農業用施設復旧、農地除塩、排水機場復旧（県営）

#### 【小中学校】

小学校プール、小高区の小中学校（設計費）等

### 通常事業

239億円

- ・人件費
- ・医療費助成、生活保護費等の扶助費
- ・公債費
- ・継続事業の投資的経費
- ・物件等
- ・補助金等

参考

H23 当初予算 277 億円

## 平成24年3月定例会での審議結果（意見が分かれた議案について掲載しました。）

議員名	議決結果	友和会										改革クラブ												
		横山元栄	細田廣	今村裕	鈴木昌一	田中正一	中川庄一	西一信	平田武	湊清一	山田雅彦	小林正幸	小川尚一	竹野光雄	田中京子	西銃治	志賀稔宗	土田美恵子	渡部寛一	荒木千恵子	大山弘一	奥村健郎	但野謙介	水井清光
3月定例会 市長提案 予算 平成24年度一般会計予算について	可	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○

○ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 可 可決 否 否決 網 継続審査

○ 採決の結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 賛 賛成 反 反対 議 議長 欠 欠席

# 総務常任委員会

議案第4号 南相馬市東日本大震災復興交付金基金条例制定について

**質疑** 南相馬市として今何が大事なのか、焦点を絞ることも重要かと思うが。

**答弁** 市民が生活する上で一番大事なことは住居の確保と考える。防災集団移転、災害公営住宅関係を含めて、学校の耐震など、防災、安全なまちづくりを進める。

**質疑** 関連部署の組織強化が必要と考えるが。

**答弁** 基本的には必要な人員は配置する方向で進めている。市民の皆さんにも、我慢出来る部分については協力をいただき、やらなければいけないことをやりきるといふ、職員体制を考えて行きたい。審査の結果、原案の通り可決。

議案第5号 南相馬市税条例の一部を改正する条例制定について

**質疑** 市民税均等割の増税については、やむを得ないところもあり、被災地の住民感情を踏まえた時に特例で、や

る気の起さる納税環境の整備も必要と思うが。

**答弁** 救済手段として減免条例がある。規程すべきと言う考えに至ったときには上程して行きたい。

議案第28号 平成24年度南相馬市一般会計予算について

**質疑** 災害派遣職員受け入れ事業で、派遣先の自治体の財政負担を軽くしようという動きがあるようだが、これまでに支出していた分もカバーされるのか。

**答弁** 派遣形態には2種類あり、今回お願いしている中長期派遣は協定に基づいて、派遣を受け入れる自治体が当該人件費を負担する。短期派遣については、派遣もとの自治体が旅費等を含めて全額人件費を負担する。いずれも交付税措置がある。

**質疑** 電気自動車の普及促進について今後どのように進めていく考えか。

**答弁** 今回は市役所に設置するものであるが、カーシェア

アリング等についても検討しながら普及を促進して行きたい。



導入が予定される電気自動車

**質疑** 南相馬チャンネルを開始することで、活字、インターネット、テレビ等様々なメディアを活用することとなる。情報の棲み分けについてどう考えているか。

**答弁** 情報の内容によってテレビ等画像を見た方が解りやすいもの、文章で詳細に書いた方がわかりやすいもの、ということでも振り分ける広報誌については現在月2回発行している。それでは情報が遅いという避難者もいることから、そう言う時にはテレビで速やかに流すなどして各メディアを活用して行きたい。

**質疑** 原発事故から1年が経過し、地域全体で放射能に対する知識がある程度高まっ

て来ている。アドバイザー事業でどのような事が期待されるのか。

**答弁** 東京大学の児玉先生は、出来れば小さな会場で市民と膝詰めで話をして行きたいと言うことで、要望があれば行政区単位でも先生に来て頂き、放射線に関する知識を深めて頂きたい。

**質疑** 生活圏除染作業を進める中で、新しい除染技術があってもそれを採用出来ない、という問題が出ることも考えられるがどのように捉えているか。

**答弁** 環境省の基本的ガイドラインに基づいた除染方法に対して、交付金が出る仕組みとなっており、新たな除染方法を実施した場合、交付金の在り方については明確になっていない。その際は個別に環境省と協議することとなつてはいるがそれでは除染が遅れる可能性もあるため早めに対応出来るよう、環境省、業者と協議しながら進めたい。

**討論** 避難者が一日も早く帰還出来るよう、慎重な対応での予算執行を望むと共に、従来からの事業については常日頃から在り方を見直す姿勢を持ち、公金の効率的な執行に取り組むなど、非常時では

あつても財政規律を根底に置いた対応を望み賛成。警戒区域解除を見据え、スビーデー1かつ的確な対応を望み賛成、合併当初掲げた2対2対6という、予算規模の枠を崩さない予算編成を行うことを指摘し賛成。

審査の結果、原案の通り可決。

議案第40号 平成24年度南相馬市病院事業会計予算について

**質疑** 厳しい状況の中でも30名の医師の確保を目指し、県立医大からの医師派遣が今年に入り3名、4月1日からさらには数名の医師の確保がかなつたと言ふことであるが、引き続き医師確保事業は取り組んで行くのか。

**答弁** 2月1日から公募をしているが、問い合わせが非常勤的なものであり、常勤医師の確保には繋がっていないため引き続き実施していく。

**質疑** 小高病院については警戒区域解除後の運用について統合と言ふ話も出ているが、方向性としてどのように進めようと考えているか。

**答弁** 小高病院地区のライフランを確保した中で住民の意見を尊重しながら、今後進めて行く。